

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見えてきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	西区
学 校 名	九条北小学校
学校長名	北村 嘉隆

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・九条北小学校では、第6学年 38名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科いずれも平均正答率が全国・大阪市よりも高い結果となった。国語は全国平均正答率よりも3.2ポイント、大阪市の平均正答率よりも5ポイント上回っている。算数は全国平均正答率・大阪市の平均正答率よりも1ポイント上回っている。理科は全国平均正答率よりも1.9ポイント、大阪市の平均正答率よりも4ポイント上回っている。
平均無回答率については、国語は全国平均を下回っているが、大阪市平均を上回っている。算数は全国平均、大阪市の平均ともに大きく上回っている。理科は全国平均、大阪市の平均ともに大きく上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「(1)言葉の特徴や使い方に関する事」「(2)情報の扱い方に関する事項」について、平均正答率が全国・大阪市平均を上回る結果であった。「(3)我が国の言語文化に関する事項」では、平均正答率が全国・大阪市平均を下回る結果であった。

〔算数〕

「B図形」の領域では、平均正答率が全国・大阪市平均を上回る結果であった。「A数と計算」「C測定」の領域では、平均正答率が全国・大阪市平均を下回る結果であった。

〔理科〕

全ての領域で、平均正答率が全国・大阪市平均を上回る結果であった。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思う」について、肯定的に答える児童の割合が全国・大阪市の平均に比べて下回っており、児童の自尊心の低さがうかがえる。
一方で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、肯定的に答える児童の割合は100%と高い結果であった。このような部分を継続できるようにしていきたい。

「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」「理科の勉強は好きですか」に肯定的に答える児童の割合は、大阪市・全国平均を上回る結果であった。引き続き児童が興味をもって学習に取り組むことができるようにすすめていく。

今後の取組(アクションプラン)

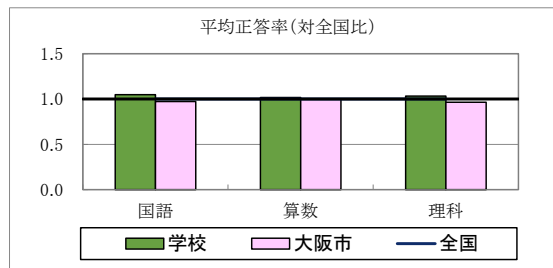
国語・算数・理科のいずれの教科においても、全国・大阪市の平均正答率を上回る結果となった。朝学習や昼のパワーアップタイムに基礎・基本の定着を図ってきた成果であると考えられる。引き続き、反復練習が必要である課題に、児童が進んで取り組むことができるような手立てを継続する。

また、算数を中心に、習熟度別学習や少人数学習を行うことで、個に応じたきめ細やかな指導を実施していきたい。

【 全体の概要 】

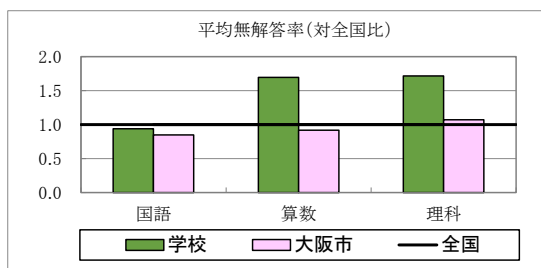
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	70	59	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.1	6.1	4.8
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



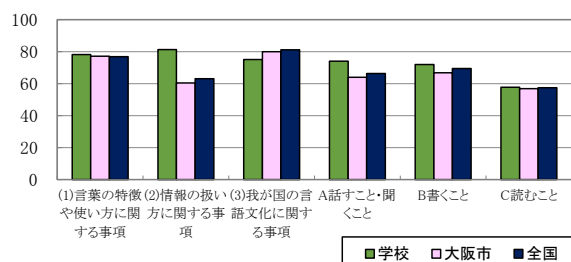
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	78.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	81.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	75.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	74.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	71.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	57.8	56.9	57.5

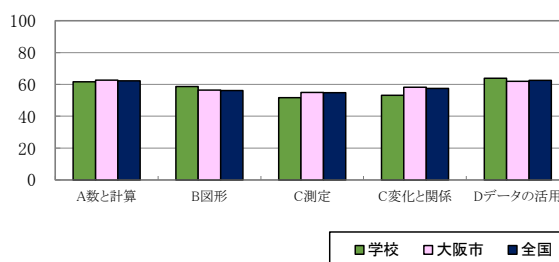
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	61.7	62.7	62.3
B 図形	4	58.6	56.4	56.2
C 測定	2	51.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	53.1	58.2	57.5
D データの活用	5	63.8	61.9	62.6

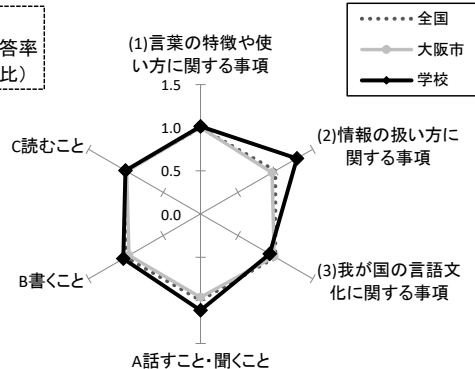
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



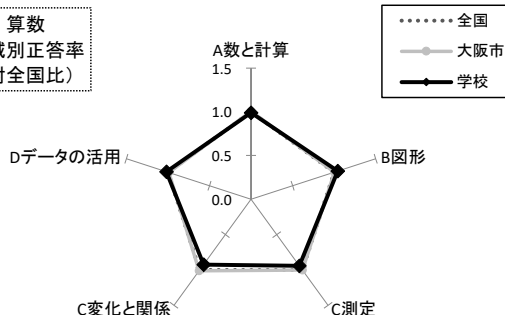
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

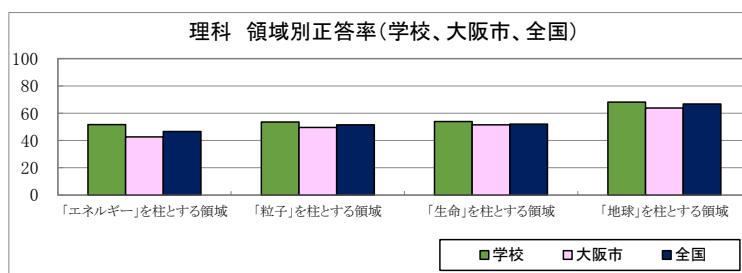


算数
領域別正答率
(対全国比)

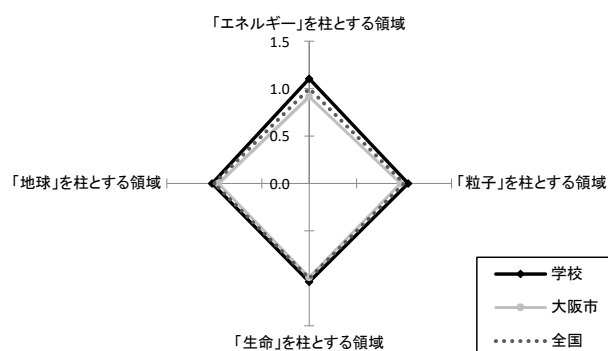


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	51.6	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	53.6	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	53.9	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	68.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



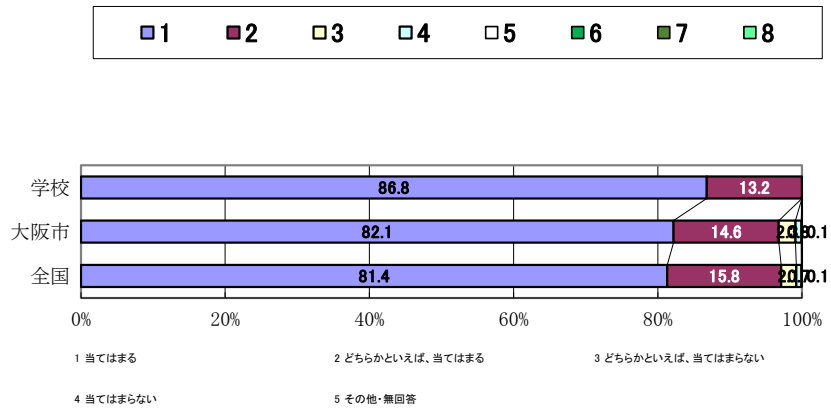
児童質問より

質問番号

質問事項

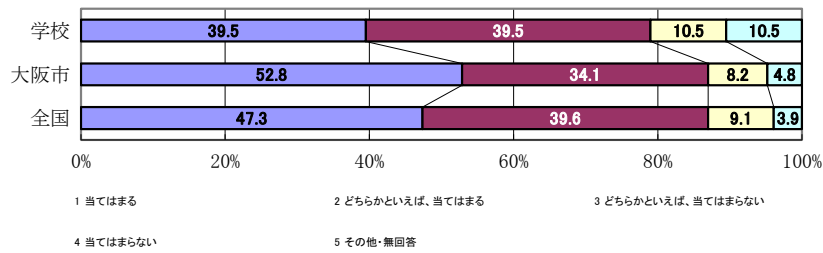
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



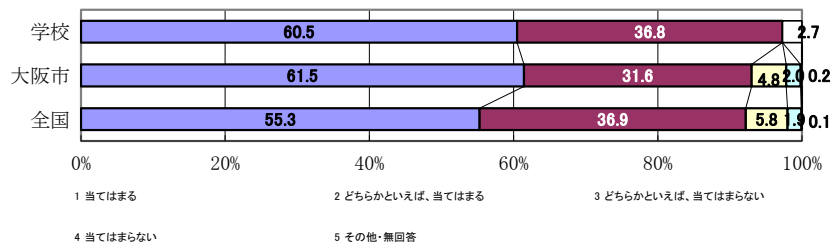
5

自分には、よいところがあると思いますか



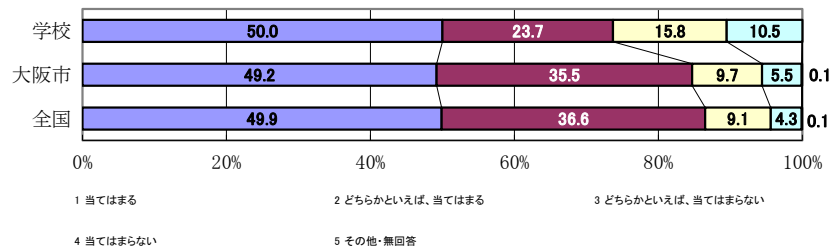
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



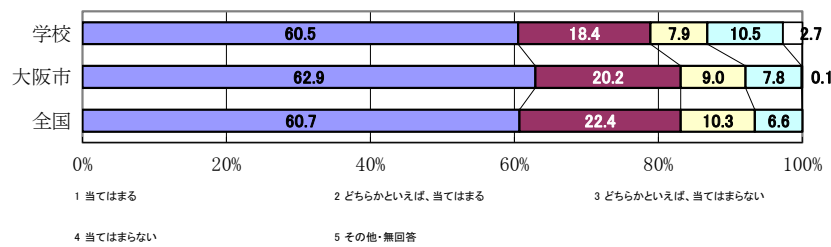
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



学校質問より

質問番号

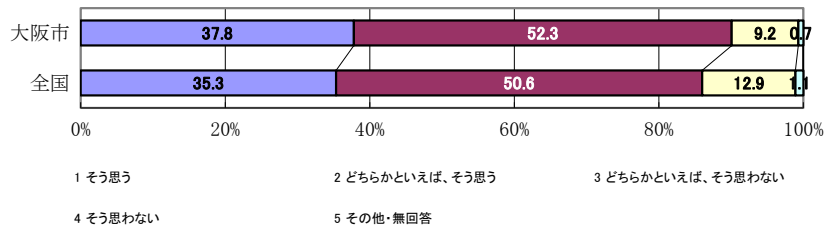
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

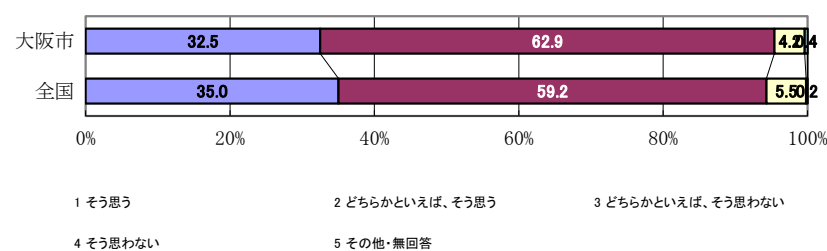
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

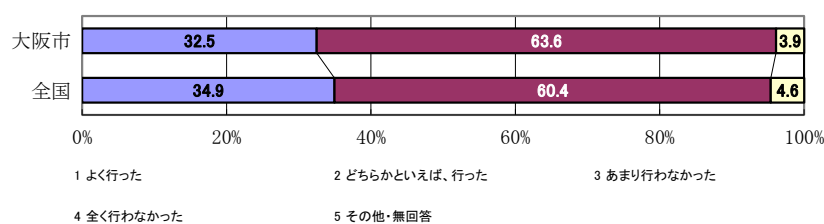
学校 「そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

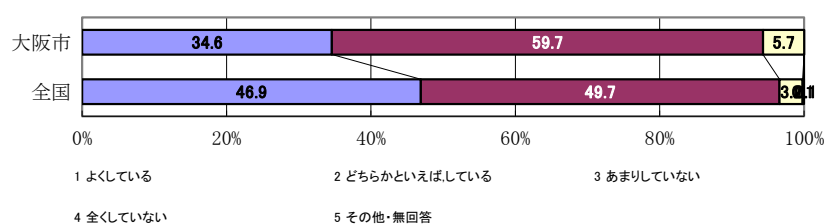
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



82

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

